愛知学院大学歯学・薬学図書館情報センター
Aichi Gakuin University Dental and Pharmaceutical Library and Information Center
〒464-8650　名古屋市千種区楠元町 1-100　TEL052－751－2561
（内線 1621）

ずいひつ No.105

2014 年 12 月 25 日発行

クリスマスとお正月のその裏で

今日はクリスマス。もう一週間もすればお正月ですね。今回は元書店員の私がこの時期の書店の裏側についてお話しします。

クリスマスが近づいてくると街に溢れるイルミネーションやサンタクロース。書店でも例にもれずクリスマス商戦というものがあります。その忙しさは一年で一番と言っても過言ではありません。例年の動向や今年の流行に合わせて入荷する本やその量を決めます。入荷までに版元から長いと二月ほどかかるものもあるので早目の準備が必要です。

いよいよ迎えるクリスマス。直前の一週間と週末はまさに戦場です。お子様向けのプレゼントとして絵本を選ばれた方のレジ・ラッピング攻撃があります。「男の子向け・女の子向け」によってラッピング用紙の色やシールも変わってくるので間違えないように聞き取りをしなければいけません。丁寧にかつ迅速に、そして親御さんの期待と気合いのこもった目線と戦いながら包むのは結構なプレッシャーでした。ようやく包んだものをその場でお子さんに渡され、ぐちゃぐちゃに包みを開けられると嬉しい顔が見られて良かったと思う反面、せっかく綺麗に包んだのになぁという何とも言えない切ない気持ちでいっぱいになったものです。

クリスマス、つまり25日の閉店が近づくと、一斉にお正月モードへの切り替えが始まります。音の鳴る絵本やツリーはさっさと片付けて、百人一首や干支の由来などのお正月の絵本を陳列します。26日の朝には何事もなかったかのようにお正月商戦の商品が並んでいるようにしなければいけないため、クリスマスだからといって浮かれている暇はありません。しかも年々変形型の書籍が増えてゆく出版業界…。頭を悩ませながら陳列するのは楽しさと苦労で半々といった感じでした。

年が明け二週間ほど過ぎたころ、つまりカレンダーや暦といったお正月商戦の品を撤去したころ、ようやく正月を迎えた気分になったものです。しかし書店員にのんびりしている暇は（案外）ありません。すぐにバレンタイン、入園・入学、GW 商戦、夏の文庫フェア、コミックフェア、芥川賞にハロウィン、そして迎える最大の敵クリスマス…。このようにしてあっと言う間に一年が過ぎてゆきます。

「本屋さんってはたきを持ってのんびりしてそうでいいな。ついでに立ち読みもできるし♪」と思っているそこのあなた！書店の意外にハードな裏側を少しでも理解して頂ければ幸いです。そして願わくは、これは図書館でも言える事ですが、本は大事に丁寧に扱って下さいね。「ここ」に到着するまでに沢山の人間の汗と知恵と労力が詰まっているのですから。

（犬より猫派司書　Y）